



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インターアクション

コード番号 7725 URL <http://www.inter-action.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木地 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

(氏名) 木地 伸雄

TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日 平成28年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	939	16.0	105	82.1	83	65.0	63	965.2
28年5月期第1四半期	809	98.7	58	—	50	—	5	△46.3

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 51百万円 (366.3%) 28年5月期第1四半期 11百万円 (△14.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	6.71	—
28年5月期第1四半期	0.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第1四半期	6,300	2,780	44.1	292.48
28年5月期	5,853	2,822	48.2	292.13

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 2,780百万円 28年5月期 2,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成29年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円 記念配当2円

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,294	△7.7	174	10.5	158	△1.5	101	△3.0	10.69
通期	6,242	22.9	597	27.7	561	26.6	398	28.3	41.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式数を控除した期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期1Q	10,052,100 株	28年5月期	10,052,100 株
② 期末自己株式数	29年5月期1Q	545,428 株	28年5月期	390,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期1Q	9,484,444 株	28年5月期1Q	9,716,500 株

(注)当社は、株式給付信託型ESOP及び株式給付信託型役員株式報酬制度を導入しており、株式給付ESOP信託口及び株式給付役員報酬信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 平成29年5月期第1四半期決算短信(連結)補足説明	10
(1) 受注実績の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における内外経済情勢は、米国では雇用情勢や個人消費が底堅く推移し、回復基調が続く一方、欧州では全般に緩やかな拡大が続きましたが、平成28年6月の英国によるEU離脱の決定により、先行き不透明感が高まりました。

わが国の経済は、雇用の改善と設備投資の緩やかな増加が見られるものの、個人消費の低迷に加え、年初からの円高の企業収益への影響が懸念されるなど、不安定な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、主要販売先である半導体メーカーにおいてスマートフォンやタブレット端末向け製品の需要が好調のため、光源装置及び瞳モジュールの販売は、堅調に推移いたしました。環境エネルギー事業につきましては、印刷機械の更新需要が鈍化したことにより売上高が落ち込みました。インダストリー4.0推進事業につきましては、海外液晶パネルメーカーの投資が盛り上がり精密除振装置の販売が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は939百万円(前年同期比16.0%の増加)、売上高の増加等により、売上総利益は427百万円(前年同期比44.1%の増加)、営業利益は105百万円(前年同期比82.1%の増加)、経常利益は83百万円(前年同期比65.0%の増加)、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円(前年同期比965.2%の増加)となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、外部環境の変化と当社の中長期成長戦略を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より、従来の光学精密検査機器関連事業、再生可能エネルギー関連事業、環境関連事業を変更し、新しいセグメントは、IoT関連事業、環境エネルギー事業、インダストリー4.0推進事業となっております。これに伴い、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(IoT関連事業)

当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置につきましては、主要販売先である半導体メーカーにおいてスマートフォンやタブレット端末向け製品の需要が好調のため、光源装置及び瞳モジュールの販売は、堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は345百万円(前年同期の売上高162百万円に比し、112.8%の増加)、セグメント利益は187百万円(前年同期のセグメント利益86百万円に比し、116.9%の増加)となりました。

(環境エネルギー事業)

環境エネルギー事業につきましては、印刷機械の更新需要が鈍化したことにより売上高が落ち込みました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は246百万円(前年同期の売上高372百万円に比し、33.8%の減少)、セグメント利益は2百万円(前年同期のセグメント利益7百万円に比し、63.3%の減少)となりました。

(インダストリー4.0推進事業)

インダストリー4.0推進事業につきましては、海外液晶パネルメーカーの投資が盛り上がり精密除振装置の販売が順調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は347百万円(前年同期の売上高275百万円に比し、26.3%の増加)、セグメント利益は52百万円(前年同期のセグメント利益63百万円に比し、18.1%の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ446百万円増加し、6,300百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ367百万円増加し、4,933百万円となりました。これは、現金及び預金が182百万円減少したものの、仕掛品が562百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ78百万円増加し、1,366百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ488百万円増加し、3,519百万円となりました。これは、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ41百万円減少し、2,780百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益63百万円を計上したものの、前事業年度の期末配当金58百万円及び自己株式の増加34百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月12日に発表いたしました当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、本日公表いたしました「平成29年5月期第2四半期(累計)業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり結果となりましたが、通期の連結業績につきましては、現在精査中であり、適性かつ合理的な数値の算出が可能となり業績予想の修正が必要であると判断した場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,481,759	2,299,372
受取手形及び売掛金	893,579	848,149
営業投資有価証券	86,984	77,457
商品及び製品	41,768	32,088
仕掛品	692,181	1,254,556
原材料及び貯蔵品	210,043	244,005
その他	166,366	183,951
貸倒引当金	△6,933	△6,501
流動資産合計	4,565,750	4,933,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	245,684	273,278
土地	226,917	226,917
その他(純額)	123,762	111,733
有形固定資産合計	596,364	611,929
無形固定資産		
のれん	481,202	520,759
その他	19,008	47,795
無形固定資産合計	500,210	568,554
投資その他の資産		
投資有価証券	237,492	232,925
その他	211,165	210,783
貸倒引当金	△257,216	△257,241
投資その他の資産合計	191,441	186,468
固定資産合計	1,288,016	1,366,952
資産合計	5,853,766	6,300,032
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	409,704	482,157
短期借入金	502,296	1,002,230
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	390,585	411,318
未払法人税等	62,466	33,038
賞与引当金	—	23,114
製品保証引当金	8,141	6,758
役員株式給付引当金	44,200	8,461
その他	234,117	194,303
流動負債合計	1,711,512	2,221,381
固定負債		
社債	130,000	120,000
長期借入金	1,096,306	1,077,213
株式給付引当金	1,947	2,174
退職給付に係る負債	70,047	72,455
資産除去債務	10,127	10,129
その他	11,485	16,207
固定負債合計	1,319,914	1,298,179
負債合計	3,031,426	3,519,561

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,982	610,982
資本剰余金	1,513,063	1,513,063
利益剰余金	896,591	901,463
自己株式	△185,656	△220,127
株主資本合計	2,834,981	2,805,382
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△12,641	△24,911
その他の包括利益累計額合計	△12,641	△24,911
純資産合計	2,822,340	2,780,470
負債純資産合計	5,853,766	6,300,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
売上高	809,651	939,546
売上原価	513,035	512,075
売上総利益	296,615	427,471
販売費及び一般管理費	238,560	321,725
営業利益	58,055	105,745
営業外収益		
受取利息	309	152
受取配当金	101	0
貸与資産賃貸料	2,394	2,512
持分法による投資利益	880	—
補助金収入	—	6,481
その他	4,158	5,562
営業外収益合計	7,845	14,709
営業外費用		
支払利息	6,113	6,310
貸与資産諸費用	2,464	2,943
為替差損	2,771	23,903
持分法による投資損失	—	263
その他	3,764	3,232
営業外費用合計	15,113	36,652
経常利益	50,787	83,802
特別損失		
固定資産除却損	—	2
固定資産売却損	—	407
特別損失合計	—	409
税金等調整前四半期純利益	50,787	83,393
法人税、住民税及び事業税	16,085	16,554
法人税等調整額	12,296	3,222
法人税等合計	28,382	19,777
四半期純利益	22,404	63,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,432	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,972	63,615

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	22,404	63,615
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13,728	△11,660
持分法適用会社に対する持分相当額	2,335	△609
その他の包括利益合計	△11,392	△12,270
四半期包括利益	11,012	51,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△674	51,345
非支配株主に係る四半期包括利益	11,686	—

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	162,445	372,063	275,141	809,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	162,445	372,063	275,141	809,651
セグメント利益	86,329	7,712	63,628	157,670

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	157,670
全社費用(注)	△97,780
たな卸資産の調整額	△1,834
四半期連結損益計算書の営業利益	58,055

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	IoT関連事業	環境エネルギー事業	インダストリー4.0推進事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	345,706	246,393	347,446	939,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	345,706	246,393	347,446	939,546
セグメント利益	187,275	2,833	52,138	242,246

(注) 外部環境の変化と当社グループの中長期成長戦略を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法及び名称を変更しております。

従来の「光学精密検査機器関連事業」「再生可能エネルギー関連事業」並びに「環境関連事業」セグメントを変更し、「IoT関連事業」(従来の「光学精密検査機器関連事業」に区分されていた検査用光源装置事業)、「環境エネルギー事業」(従来の「環境関連事業」及び「再生可能エネルギー関連事業」)並びに「インダストリー4.0推進事業」(従来の「光学精密検査機器関連事業」に区分されていた精密除振装置事業及び「その他」に区分されていたWebシステムの受託開発・コンサルティング事業等)としております。

これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び名称に基づき開示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,246
全社費用(注)	△134,655
たな卸資産の調整額	△1,845
四半期連結損益計算書の営業利益	105,745

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 平成29年5月期第1四半期決算短信(連結)補足説明

(1) 受注実績の状況

① 受注実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)		増減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
IoT関連事業	172,599	173,897	583,063	476,528	410,464	302,631
環境エネルギー事業	434,103	481,685	352,560	718,588	△81,543	236,903
インダストリー4.0推進事業	243,700	35,700	430,053	114,074	186,353	78,374
合計	850,403	691,283	1,365,678	1,309,190	515,274	617,908

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 外部環境の変化と当社グループの中長期成長戦略を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法及び名称を変更しております。

従来の「光学精密検査機器関連事業」「再生可能エネルギー関連事業」並びに「環境関連事業」セグメントを変更し、「IoT関連事業」(従来の「光学精密検査機器関連事業」に区分されていた検査用光源装置事業)、「環境エネルギー事業」(従来の「環境関連事業」及び「再生可能エネルギー関連事業」)並びに「インダストリー4.0推進事業」(従来の「光学精密検査機器関連事業」に区分されていた精密除振装置事業及び「その他」に区分されていたWebシステムの受託開発・コンサルティング事業等)としております。

これに伴い、前第1四半期連結累計期間の受注高及び受注残高は、変更後の報告セグメントの区分及び名称に基づき開示しております。